



フェイスブックでは、さらに阿南市や地域の出来事をチェックできます!



カイロで身も心も温まる



12月7日、洋菓子を製造するショコラティエームから貼るカイロ10,080枚を、あななんサロン、いきいき100歳体操など高齢者の介護予防通いの場へご寄贈いただきました。取締役専務の小土手将志さんは、「寒い時期、カイロで温かくして、体調管理にお役立てください」と話していました。



阿南版事業仕分けで市政に民意反映



11月8日、ひまわり会館で、市の事業について市民目線で評価する「阿南版事業仕分け」を実施し、5つの事業に対して、その必要性や実施方法を、市民判定人の皆さまに評価・判定していただきました。判定結果は、「不要・凍結」が1件、「国・県・広域で実施」が1件、「要改善」が3件となりました。



高校生が「ご近所デイサービス」でボランティア



11月3日、羽ノ浦町内2カ所（むらさきご近所デイサービス、スマイルご近所デイサービス）で、医療や福祉に関心を持つ富岡西高校生徒10人がボランティアスタッフとしてお手伝いをしました。生徒は、参加者と一緒に行きいき100歳体操を行ったり、ゲームに取り組んだりして、介護予防の現場を体験しました。



総合計画のキャッチフレーズが決まる



公募していた総合計画のキャッチフレーズが、「咲かせよう夢・未来計画2028」に決まりました。作者は細川眞文さん（羽ノ浦町）で、「8年後に向かって、市民一人ひとりが阿南のまちで夢を実現し、豊かな未来を築いていけるよう頑張っていきましょう!」のメッセージが込められています。（応募28人・48作品）



青少年健全育成パトロール車を更新



青少年健全育成センターが、市内を巡視するために使用するパトロール車を更新しました。センターは、毎日のパトロールのほか、不審者対応訓練、有害図書回収、児童・生徒のいじめ・悩み事相談を行うなど、学校、地域、関係機関と協力し、青少年の健全育成と非行防止に向けた活動を行っています。



「うみぼす」写真コンテストでグランプリ



海の観光を応援するプロジェクト「うみぼす」写真コンテストで、YMCA阿南国際海洋センターが応募した写真が、インスタの部でグランプリを獲得しました。YMCAが所有する無人島は、たくさんの人に支えられ、キャンプで利用されています。島の歴史や明るい未来を願い、持ち上げました。